

「ブナじいさんの田んぼの楽校」

～森と田んぼの保育園～

社会福祉法人 三瀬保育園
園長 本間日出子

1. はじめに

三瀬地域は、三方を山、一方を海に囲まれた自然豊かな地域です。

約1800人が暮らすこの地域に、50名の乳幼児を預かる三瀬保育園があります。

本園では、乳幼児期における自然環境の中での直接体験は、園児の「感性」や「好奇心」「想像力」「関わり」を育むうえで大切であると考え、その考えに基づいて保育プログラムを実践しています。

今年の春には、今までの保育活動が評価され、社団法人農村環境センター主催の「田んぼの学校」企画コンテストにて「企画賞」を頂きました。

田んぼは、本園の前や横にある身近な環境であり、多様な生き物が暮らす重要な場所です。また、昨年度よりお米づくりにも取り組んでおり、園児にとっても慣れ親しんだ環境でもあります。この田んぼとブナの森を教材に今年度の保育活動を展開することにしました。

豊かなブナの森から流れてくる水が、おいしいお米づくりに貢献しているように、異なる2つの環境で園児が様々なものを発見し、その違いや共通点、また繋がりを感じる心を育みたいと思います。

また、地域の方々や、保護者の方々、専門機関の方々にご協力いただいで活動を進めていき、園児や自然環境を取り囲む周りの人との関わりも育まれることも目的にしました。

2. 活動内容

今年度は、田んぼの生き物・稲の成長・田んぼと森のつながりをテーマに計12回のプログラムを展開しました。プログラムには、地域の伝統文化である農耕に纏わる祭りや収穫祭も積極的に取り入れました。また、自然の音や色、風景、あらゆる自然環境に興味が高まるように、保育者の言葉がけや情景を表現する歌を取り入れるなど工夫しながらプログラムを実践しました。

【主な活動内容一覧】

月	イベント	遊び	生き物	音	風景	歌
4月	4月12日 〔気比神社祭り〕 榊神輿引き	○田んぼ遊び (お花の観察)	・蝶・ミツバチ ・カラス・ツバメ ・カワニナ・アメンボ	・フクロウの鳴き声	・お花畑	♪おお牧場はみどり ♪春の小川 ♪森の一日
5月	5月8日 〔気比神社にお田植え祭りを見に行く〕	○田んぼの観察 ○畦や田んぼの草花観察 ○小川での生き物探し	・オケラ・イモリ ・カエルの卵・蛇 ・オタマジャクシ	・水の音 ・カエルの鳴き声 ・鶯の鳴き声	・水入れ ・田おこし ・代かき・新緑	♪田植えの歌 ♪なつはきぬ ♪カラスの親子
6月	6月10日 《田植え》	○田植え前の田んぼに入り、生き物探しや、泥の感触体験	・アマガエル・蚊 ・トノサマガエル ・ホタル(幼虫)	・カエルの鳴き声	・豊かな田園 ・夜空	♪蛙の笛 ♪朧月夜 ♪カエルのがっしょう
7月	7月19日 《夏まつり：世界の収穫祭》	○田んぼの観察 ○トンボの羽化探し	・ホタル・アブ ・オニヤンマ ・イナゴ・カメムシ	・セミの鳴き声	・太陽・入道雲 ・雲・星	♪ほたるこい ♪トンボのめがね
8月	8月11日 《稲の花》	○イナゴ捕まえ		・虫の鳴き声 ・雷雨	・稲の花 ・波打つ稲穂	♪案山子 ♪むしのこえ
9月	9月3日 気比神社奉納相撲大会	○イナゴの食痕探し	・イナゴ	・虫の鳴き声	・満月(お月見)	♪こおろぎ
10月	10月10日	○刈り取りあとの田んぼ遊び	・ドジョウ	・ネズミの鳴き声	・お月見	♪秋っていいな

	《稲刈り》 山大農場遊び	(畦からのジャンプ遊び)	・イモリ		・天日乾燥	♪楽しい森の中 かいなかの四季♪村祭り
11月	11月 7日 《脱 穀》	○田んぼ遊び 《霜の観察・ネズミ穴の観察》		・霰の音 ・風の音	・紅葉	♪森の子守歌

※「森の一日」「カラスの親子」「秋っていいな」「楽しい森の中」「森の子守歌」は、平成19年度の三瀬保育園の子どもたちと職員が作詞し、田中宏先生に作曲して頂いたオリジナル曲です。

そして、今年度の田んぼ活動からは、「田んぼの詩（うた）」という曲が生まれました。



3. まとめ

- ・田んぼは身近な場所にあることから、観察する際に、同じ場所であっても、朝・昼・夕方・夜と時間帯によって動く生き物が違うことなどに気づき興味が深まった。
- ・毎日食べる「お米」に興味をもったことから、食べるご飯の量が多くなった。

●0歳児

- ・保育者の言葉や歌声、自然の音にじっと耳を澄まして聴覚を使って自然を楽しんでいる様子だった。

●1～3歳児

【感性・好奇心】

- ・鳥の鳴き声に耳を澄ましたり、風に波打つ稲穂などを立ちすくんでじっと見つめていたり、言葉での表現はあまりないが感覚的に自然現象を感じていることが多いことがわかった。

【科学性】

- ・様々な生き物が田んぼの中にあることがわかり、捕まえよう（カエルの卵・オタマジャクシ・カエル・イナゴなど）とする行動が見られ、より近くで観察したい気持ちが出てきた。
- ・草花を摘んで触って確かめようとする行動が確認され、草や花の作りを視覚や嗅覚を使って感じる様子が伺えた。

●4～5歳児

【感性・好奇心】

- ・自然体験の中で感じたこと、思ったことを言葉で表現し、イメージに浸って擬人化したような物語的な表現がよくみられた。
- ・自然事象を現実的に筋道立てた表現をしようとする。

【科学性】

- ・カエルやドジョウなどは、水がなければ生きられない生き物の生息環境について、遊びを通して理解できた。
- ・自然体験の中でたくさんの生き物に触れることで、食う食われる関係（食物連鎖）に、少し関心が見られた。
- ・自分が見たり、聞いたりしたことを、図鑑や絵本などと照らし合わせて、知識を得ようとする探究心がみられた。
- ・自然体験を通して、自分の知識が増えていくことに喜びを感じ、友だちや保育士に得た知識を伝え、共感を求める。また、さらに自分の知識を増やすために、頻りに図鑑を見るようになった。